

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年06月06日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2026年5月12日
明治大学卒業予定年月	2028年3月
留学先大学について	
留学先国	America
留学先大学	ノーザン州立大学 (日本語名) Northern state University (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 /
留学期間	2025年8月～2026年5月
留学先大学で在籍した学年	1年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月下旬～12月中旬 2 学期: 1月中旬～5月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	人
創立年	年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 () (1 現地通貨 = 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	10,529,63	1,671,853 円	
食費		円	
図書費	0	46,624 円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		60,495 円	
現地交通費		円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)		176,323 円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費		374,329 円	
ビザ申請費		26,025 円	
雑費		円	
その他		51,229 円	
その他		-300,000 円	奨学金
合計 ※現地通貨 および 円	10,879 (=1,743,150 円)	2,106,878 円	
総計(A+B) ※円		3,850,028 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田空港 目的地：アバディーン 経由地：ミネアポリス

復路 出発地：アバディーン 目的地：羽田空港 経由地：ミネアポリス

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：

料金：

復路 航空会社：

料金：

∴合計：

航空券購入方法

旅行代理店(店名：)

インターネット(サイト名：)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前：) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 1)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

ノーザン大学が選択肢を提示

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

第一希望の寮ではありませんでしたが、結果的にはよかったなと思っています。具体的には、私の寮は部屋にトイレとシャワー室がついていたので清掃などの管理は自分たちでする必要がありましたが、使うのがルームメイトと私だけなので大人数で共有する場合に比べて清潔感を保ちやすかったです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学の敷地内であれば問題なく学内Wifiが使えました。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地の銀行口座を開設してそこにお金を送ってもらっていました。大学で口座を開設したい人向けの説明会があるのでそれに参加しました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

日本食

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)	
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)	
United history1	アメリカ史	
科目設置学部・研究科		
履修期間	2025 秋	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Dias	
授業内容		
試験・課題等	中間テストが二回と期末テストが一回	
感想を自由記入	教授が留学生に親切なので、現地での授業が不安な方はこの授業を取ることをお勧めします。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Western Civilization	西洋文明
科目設置学部・研究科	
履修期間	2026 春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Art
授業内容	
試験・課題等	中間テストが 2 回、期末テストが一回
感想を自由記入	先生の話す英語が早くて理解するのが大変でした。聞き取れないところは予習や復習で補いました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
international communication	国際関係
科目設置学部・研究科	
履修期間	2025 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	授業で出された資料を読んでレポートを書く。期末にスライドショーを使った発表
感想を自由記入	教授自体も海外出身の方なので留学生への気遣いが人一倍ある方なので気楽に受けられます。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
composition 1	
科目設置学部・研究科	
履修期間	2025 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	レポート
感想を自由記入	先生がとてもやさしいです。留学生への特別措置なども取ってくれます。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
composition 2	
科目設置学部・研究科	
履修期間	2026 春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	レポート
感想を自由記入	composition1 と同じ先生です。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
foundation of communication	コミュニケーションの基礎
科目設置学部・研究科	
履修期間	2025 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	一学期に 4 回スピーチの課題がありました。
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Foundation English in New Media	
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	
授業内容	アバディーンについて学ぶ
試験・課題等	レポート
感想を自由記入	composition の先生と同じ先生です。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
united history2	
科目設置学部・研究科	
履修期間	2026 春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	中間 2 回、期末一回
感想を自由記入	第二次世界大戦を扱う授業回では日本の学生への配慮がありました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
introduction to sociology	社会学入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	2026 春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	中間 2 回、期末 1 回
感想を自由記入	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私は留学が終わってから就活を始めました。大学三年生で留学に行く国際日本学部の学生はゼミへの申し込みや面接などが留学中にあるので日本時間に合わせて動く必要があります。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	TOEFL 勉強
	8月～9月	TOEFL 勉強
	10月～12月	TOEFL 試験 学内面接
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ 申請
	8月～9月	ビザ 所得 出発
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私はこの留学を通して、英語力だけでなく精神的に大きく成長したなと思います。具体的には、自分を俯瞰できるようになりました。留学先では、悔しい思いも恥ずかしい思いもたくさんしました。そのたびに、自分に何が足りていなくて何をすべきかを考える必要がありました。自分を俯瞰できるようになると、他人と比べて落ち込むことがぐっと減りました。アバディーンは田舎なので人と人の距離が近いように感じました。ノーザン州立大学に関連する人たちはみんな優しくかったので変に緊張する必要はないと思います。ノーザン州立大学は日本人の学生人数が多いので心細さもそれほど感じませんでした。渡航前に英語の学習をするのはもちろん、現地では多国籍の学生が集まります。でするので自分の国の政治や文化についてすこしでも話せるようにしておくといいと思います。